

一代交配 **ジェジェJ・くりひかり** の栽培 (沖縄エリア)

(株)渡辺採種場

1. 作型

地域	作型	10	11	12	1月	2月	3月	4月	5月
沖縄	露地	●	▲			■			■

●:播種 ▲:定植 ■:収穫

2. 栽培 (親蔓1本仕立ての1個どりが基本です。)

①育苗

例) 50穴または72穴セルトレイでは8~12日位の育苗で、根鉢が崩れなくなった時が定植適期です。老化苗は根張りが悪く、低収量となります。

②播種

セルトレイ専用培土を使い覆土が1cmとなるように播きます。

発芽適温の地温28~30℃を確保し発芽を揃える。7日位で発芽は揃います。

③定植準備 (若苗で定植するため定植準備は早めに行なってください。)

施肥量:

元肥の目安としては「**くりゆたか**」「**えびす**」と同量とします。追肥の分をロング肥料 (70日タイプ) を使い元肥に施用すると草勢維持がしやすく、追肥の省力化にもなります。

<10a当たり 施肥例>

堆肥: 2t

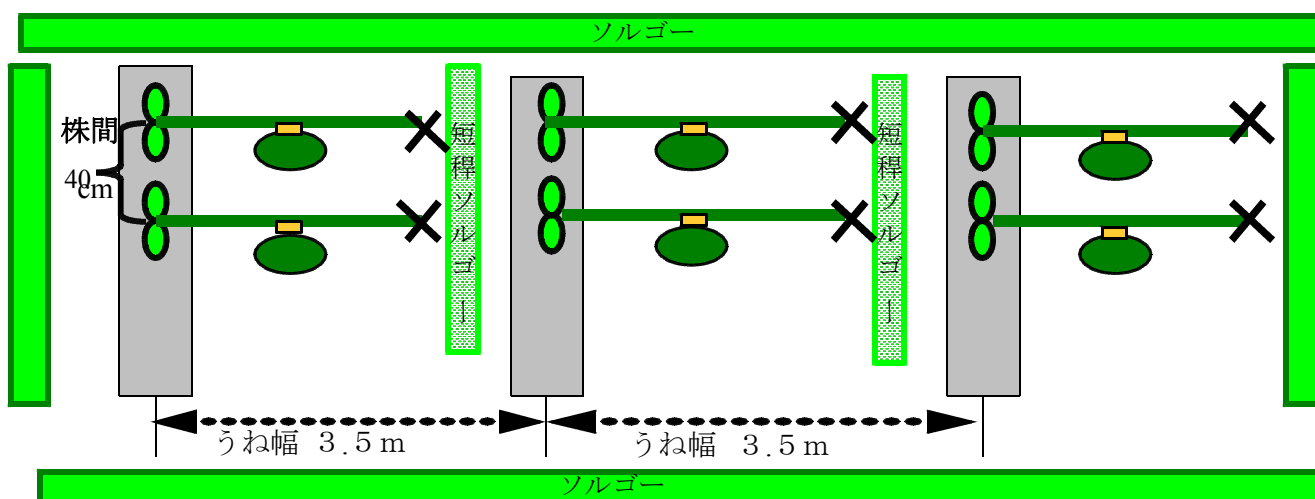
元肥: (成分) N:P:K=10~14:13~16:10~14kg

低温期の栽培は透明かグリーンマルチを使用します。

<一方向仕立て> 従来の普通節間品種よりうね幅を狭くして下さい。

うね幅3.5m、株間40cm (714株/10アール)

ソルゴーはかぼちゃ播種の30~40日前にまきます。蔓がソルゴーまで達したら摘芯します。



④定植 (若苗定植を厳守)

植え穴に殺虫剤を処理し、十分水をかけて下さい。定植後活着までは極力萎れないよう注意して下さい。

定植後の管理

⑤親ツルの誘導と側枝の摘除

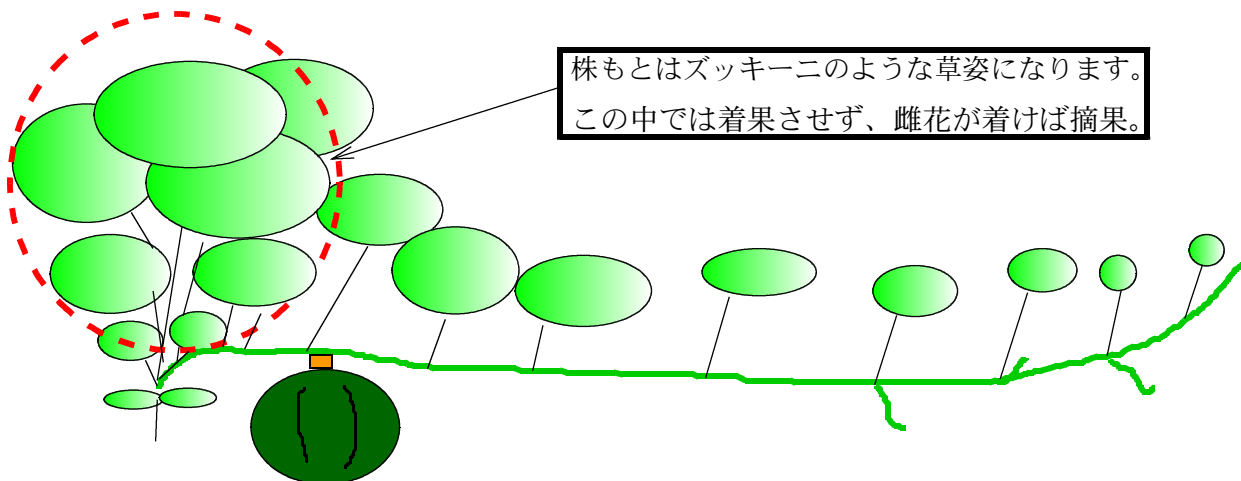
*株元から着果節までの側枝は早めに摘除して下さい。10～11月まきでは従来の品種同様に側枝は摘除して下さい。 12月播き以降の作型では株元の強い側枝2～3本は摘除して下さい。

*株もとの雌花は開花前に摘果して下さい。残して着果させると葉柄で擦れたりして傷果や変形果となります。

⑥交配

年内まきでは株元から1m以降が着果節ですので、交配、着果させて下さい。

年明けまきでは株元から30cm位から交配、着果させて下さい。



⑦追肥（えびす、くりゆたかと同量）

草勢を見ながら雌花の蕾み（つぼみ）が確認できた時と着果確認後早めに野菜肥料で追肥（チッソ成分で1回当たり3k位／10アール）草勢の維持は液肥や葉面散布も効果的です。

⑧マット敷き：開花後15～18日目頃にカボチャマットを果実の下に敷いて下さい。

⑨薬剤散布（うどんこ病、アブラムシ中心に防除）

定期的に防除を行って下さい。

⑩収穫

開花後50日位で、ヘタ（花梗）が縦割れの外、横割れが複数本入った頃。

試し切りをし、試食して粉質度など確認して下さい。

⑪風乾

収穫後ヘタ（花梗）を5ミリ程度に切り、日陰の風通しの良いところで5～7日位切り口を十分乾かします。